



2020年度 新潟県埋蔵文化財 センター講演会

【要申込・無料】

第1回～4回
申込受付中です

お名前・住所・電話番号・
希望日を添えてお申込み
ください。

各時代の専門家が遺跡の発掘成果を織り交ぜながら歴史を解説します。

<p>第1回 6/14(日) シンポジウム 「寺地遺跡のまつりと交流」 時間 10時～12時 13時～15時30分 (9:30 受付開始) 定員 80人(定員になり次第受付終了)</p>	<p>【内容】 「国史跡 寺地遺跡—謎に包まれた大遺跡—」 小池悠介氏(糸魚川市教育委員会文化振興課) 「寺地遺跡の木柱の樹種と暦年代」木村勝彦氏(福島大学共生システム理工学類) 「寺地遺跡の巨木柱と丸木舟」荒川隆史(県埋蔵文化財センター) 「寺地遺跡からみた縄文の儀礼」長田友也氏(中部大学人文学部) パネルディスカッション</p>
--	---

<p>第2回 7/5(日)</p>	<p>土器から見た 縄文時代晩期の糸魚川 講師:渡邊 裕之 (新潟県教育庁文化行政課)</p>	<p>【内容】糸魚川市内では、下越地方や長野・石川県方面等で製作されたと思われる土器が多く出土しています。この講演では、これらの土器の分析をもとに、「地域交流」の視点から糸魚川の縄文晩期について考えます。</p>
<p>第3回 8/23(日)</p>	<p>新潟県における縄文時代の 漆工技術と寺地遺跡 講師:三ツ井 朋子 (新潟県教育庁文化行政課)</p>	<p>【内容】新潟県内における漆工芸は縄文時代前期にはじまり、縄文時代後期から晩期にかけて最も花開きました。寺地遺跡では、漆製品の製作に関わる材料や道具、製品が出土しており、縄文時代の漆工技術の一端がうかがえます。</p>
<p>第4回 9/6(日)</p>	<p>発掘調査からみた白河荘 講師:水澤 幸一氏 (胎内市農林水産課)</p>	<p>【内容】国道49号線阿賀野バイパス建設等に伴って調査された多くの遺跡から白河荘の様相が明らかになってきました。この講演会では、それらの成果について、時代を追って実像にせまります。</p>

第5回～9回はウラ面をご覧ください。

手話通訳・要約筆記に対応します。

※御希望の方は開催日1か月前までに御連絡ください。

◇講演時間 13:50～15:20(受付 13:20 から)

◇定員 80人(定員になり次第受付終了)

◇申込・会場・お問い合わせ

新潟県埋蔵文化財センター 〒956-0845 新潟市秋葉区金津 93 番地 1
TEL:0250-25-3981 FAX:0250-25-3986 MAIL:niigata@maibun.net



いきいき
県民カレッジ

当センターは花と遺跡のふるさと公園内にある県立植物園の裏にあります。バスは「美術館・植物園前」下車徒歩約3分

◇バス時刻 (秋葉区バス)

※秋葉区バスの詳細は秋葉区のホームページ等をご覧ください。



新津駅から

【行き】新津駅東口 13:10 発→美術館・植物園前 13:34 着
【帰り】美術館・植物園前 15:41 発→新津駅東口 16:05 着

矢代田駅から

【行き】矢代田駅 11:49 発→美術館・植物園前 11:56 着
【帰り】美術館・植物園前 17:07 発→矢代田駅 17:12 着

まいぶんちゃん
スタンプラリー
対象講座





2020年度 新潟県埋蔵文化財 センター講演会

【要申込・無料】

8/3(月)から
受付開始

お名前・住所・電話番号・
希望日を添えてお申込み
ください。

各時代の専門家が遺跡の発掘成果を織り交ぜながら歴史を解説します。

第5回 10/25(日)	越後白河荘をめぐる 中世の人とモノ 講師:高橋 一樹氏 (明治大学文学部)	【内容】阿賀野川の右岸にひろがる白河荘は、土地支配にかかわる領主側の古文書に加え、多様な物資の生産・消費や流通のようすを物語る考古資料の蓄積と分析が進んでいます。新たに浮かび上がってきた人やモノの動きに着目しながら、白河荘の歴史を掘り下げます。
第6回 11/8(日)	中世越後の一括出土銭 講師:伊藤 啓雄氏 (柏崎市教育委員会博物館)	【内容】境塚遺跡からは、曲物に入った2,907枚もの銭貨が出土しました。このような「一括出土銭」が発掘調査されるのは貴重な事例です。中世越後の銭貨について、他の遺跡も紹介しながら解説します。
第7回 11/29(日)	白河荘の中世遺跡群 講師:春日 真実 (県埋蔵文化財センター)	【内容】現在の阿賀野市を中心に存在した中世白河荘。阿賀野バイパス建設に伴い、多くの中世遺跡が発掘調査されました。発掘調査が行われた主な中世遺跡の年代や特徴について解説します。
第8回 1/24(日)	旧石器人の生活 最終氷期最寒冷期の新潟県域を中心に 講師:沢田 敦 (新潟県教育庁文化行政課)	【内容】日本列島の旧石器時代は現在より数度気温の低い氷河期で、当時の人々は動物を狩り、居住地を転々とする生活でした。この講演会では、新潟県エリアを中心に、極寒の氷河期を生きた旧石器人の生活をできるだけ具体的に描きます。
第9回 2/21(日)	新潟県の古墳時代 講師:滝沢 規朗 (県埋蔵文化財センター)	【内容】お墓が名称になっている不思議な時代。本県には600余りの古墳があり、近年の調査で様々なことがわかってきました。また、ムラの調査も加わることで見えてきた、本県のダイナミックな歴史にアプローチしてみたいと思います。

第1回～4回はオモテ面をご覧ください。

◇講演時間 13:50～15:20(受付 13:20 から)

◇定員 80人(定員になり次第受付終了)

◇申込・会場・お問い合わせ

新潟県埋蔵文化財センター 〒956-0845 新潟市秋葉区金津 93 番地 1
TEL:0250-25-3981 FAX:0250-25-3986 MAIL:niigata@maibun.net

当センターは花と遺跡のふるさと公園内にある県立植物園の裏にあります。バスは「美術館・植物園前」下車徒歩約3分

◇バス時刻 (秋葉区バス) ※秋葉区バスの詳細は秋葉区のホームページ等をご覧ください。



新津駅から

【行き】新津駅東口 13:10 発→美術館・植物園前 13:34 着
【帰り】美術館・植物園前 15:41 発→新津駅東口 16:05 着

矢代田駅から

【行き】矢代田駅 11:49 発→美術館・植物園前 11:56 着
【帰り】美術館・植物園前 17:07 発→矢代田駅 17:12 着

手話通訳・要約筆記に対応します。

※御希望の方は開催日1か月前までに御連絡ください。



いきいき
県民カレッジ

まいぶんちゃん
スタンプラリー
対象講座

